

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和 4 年 12 月 5 日

記入者 西村昭生

1 排出事業者	名称	京都府流域下水道事務所	所属	施設管理課		
	所在地	〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺樋ノ口1番地	担当者	前田高志	TEL 075-954-1879 FAX 075-955-2224	
2 廃棄物の名称	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター 下水汚泥(し渣)					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載)	主成分	水分:約60~70%				
	他	可燃物				
□ 分析表添付(組成)	MSDSがある場合、CAS No.					
	・成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。 ・商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。					
4 廃棄物の種類 ☑ 産業廃棄物	☑ 汚泥 □ 廃油 □ 廃酸 □ 廃アルカリ □ その他()					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 □ 石綿含有産業廃棄物 □ 水銀使用製品産業廃棄物 □ 水銀含有ばいじん等 □ 特別管理産業廃棄物 □ 引火性廃油 □ 強アルカリ(有害) □ 指定下水汚泥 □ 廃酸(有害) □ 引火性廃油(有害) □ 感染性廃棄物 □ 銻さい(有害) □ 廃アルカリ(有害) □ 強酸 □ PCB等 □ 燃えがら(有害) □ ばいじん(有害) □ 強酸(有害) □ 廃水銀等 □ 廃油(有害) □ 13号廃棄物(有害) □ 強アルカリ □ 廃石綿等 □ 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△	アルキル水銀 () トリクロロエチレン () 1,3-ジクロロプロパン () 水銀又はその化合物 () テトラクロロエチレン () チウラム () カドミウム又はその化合物 () ジクロロメタン () シマジン () 鉛又はその化合物 () 四塩化炭素 () チオベンカルブ () 有機リン化合物 () 1,2-ジクロロエタン () ベンゼン () 六価クロム化合物 () 1,1-ジクロロエチレン () セレン () 砒素又はその化合物 () シス-1,2-ジクロロエチレン () ダイオキシン類 () シアン化合物 () 1,1,1-トリクロロエタン () 1,4-ジオキサン () PCB () 1,1,2-トリクロロエタン ()					
	☑ 分析表添付(廃棄物処理法)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) □ヘキサメチレンテトラミン(HMT) □1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) □N,N-ジメチルアニリン(DMAN) □トリメチルアミン(TMA) □テトラメチルエチレンジアミン(TMED) □N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) □ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) □アセトンジカルボン酸 □1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) □1,3,5-トリヒドロキシベンゼン □アセチルアセトン □2'-アミノアセトフェノン □3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) □臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△	硫黄 (×)	塩素 (×)	臭素 (×)	ヨウ素 (×)	フッ素 (△)	炭酸 (×)
硝酸 (×)	亜鉛 (△)	ニッケル (×)	銅 (△)	アルミ (×)	アンモニア (△)	
ホウ素 (△)	その他 (—)					
□ 分析表添付(組成)						

9	有害特性 (有(無)・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(泥状) 臭い(下水臭) 色(灰茶色) 比重() pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分(60~70%)
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入 腐敗
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭
13	荷姿	<input type="checkbox"/> 容器() <input checked="" type="checkbox"/> 車両(コンテナ) <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・ <u>継続予定</u>) (45) kg (t) ㎥・m ³ ・本・缶・袋・個 / (年)・月・週・日
15	特別注意事項 (有(無))	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載 ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 ・他の廃棄物との混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性／注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等： 下水道終末処理場の水処理・汚泥処理施設から排出されたもの

流入水 → 沈砂池 → 最初沈殿池 → 生物反応槽 → 最終沈殿池 → 放流
し渣排出場所

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

試験成績報告書

京都府流域下水道事務所
所長 岸田 二彦 様

試料採取場所：洛西浄化センター
試料採取日：令和4年11月1日
試験年月日：令和4年11月1日 ~ 令和4年11月18日
試料由来：持ち込み
試料採取者：日本メンテナンスエンジニアリング株式会社

計量証明事業登録
京都府知事(濃度)第1050号
日本メンテナンスエンジニアリング株式会社
大阪市北区同心1丁目7番14号
環境試験所 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田10番地9
TEL075(959)0705 FAX075(951)0886
環境計量士 中井 政典
(登録番号 第5292号)

ご依頼を受けました試料の試験結果は、下記の通りでございます。

試験項目	試験方法	試料名	し渣 〔溶出試験〕埋立処分 (海面埋立処分を除く)	報告下限値
水銀又はその化合物	mg/L	環境庁告示第59号付表2	< 0.0005	0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	JIS K0102-55.3	< 0.001	0.001
鉛又はその化合物	mg/L	JIS K0102-54.3	< 0.006	0.006
有機燐化合物	mg/L	環境庁告示第64号付表1	< 0.01	0.01
六価クロム化合物	mg/L	JIS K0102-65.2.1	< 0.04	0.04
砒素又はその化合物	mg/L	JIS K0102-61.3	< 0.005	0.005
シアン化合物	mg/L	JIS K0102-38.1.2, 38.5	< 0.1	0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	JIS K0093-5, 6備考4	< 0.0005	0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.008	0.008
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
ジクロロメタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
四塩化炭素	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0002	0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0004	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.002	0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.004	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.03	0.03
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0006	0.0006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.0002	0.0002
チウラム	mg/L	環境庁告示第59号付表5	< 0.0006	0.0006
シマジン	mg/L	環境庁告示第59号付表6第1	< 0.0003	0.0003
チオベンカルブ	mg/L	環境庁告示第59号付表6第1	< 0.002	0.002
ベンゼン	mg/L	JIS K0125-5.2	< 0.001	0.001
セレン又はその化合物	mg/L	JIS K0102-67.3	< 0.001	0.001
1,4-ジオキサン	mg/L	環境庁告示第59号付表8	< 0.005	0.005
			-以下余白-	

本試料は環境庁告示第13号(イ)に基づき、純水を用いて溶出液を作成した。
「<」は未満を表す。

試験成績報告書

京都府流域下水道事務所
所長 岸田 二彦 様

試料採取場所：洛西浄化センター
試料採取日：令和4年11月1日
試験年月日：令和4年11月1日 ~ 令和4年11月28日
試料由来：持ち込み
試料採取者：日本メンテナンスエンジニアリング株式会社

計量証明事業登録
京都府知事(濃度)第1050号
日本メンテナンスエンジニアリング株式会社
大阪市北区同心1丁目7番14号
環境試験所 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田10番地9
TEL075(959)0705 FAX075(951)0886
環境計量士 中井 政典
(登録番号 第5292号)

ご依頼を受けました試料の試験結果は、下記の通りでございます。

試験項目	試験方法	試料名	し渣 〔含有試験〕			報告下限値
			wet	dry	酸化物	
含水率	%	下水試験方法5.1.6	62.9	-	-	0.01
水銀	mg/kg	「底質調査方法」II・5.14.1.2	0.01	0.03	-	0.01
			—以下余白—			

酸化物とは、測定元素を () 内の組成式に換算したものをwetで示す。